

遺跡から出土した
洪水を示す層

- 第4回 -

地球研
地域セミナー

災害と「しのぎの技」

池島・福万寺遺跡が語る農業と環境の関係史



11月8日(土)

13:30 ~ 16:30

大阪府立弥生文化博物館

1階ホール

歴史を紐解くと、モンスーン地帯の人びとはさまざまな災害に悩まされ、ときには大きな社会的混乱を経験してきました。本セミナーでは、大阪府民共通の財産である池島・福万寺遺跡での発掘調査の成果をもとに、人びとが災害をどう克服してきたのか、その「しのぎの技」の一端を解き明かしたいと思います。

聴講 無料 (※ただし別途入館料が必要です。)

定員 170名 (先着順)

主催 総合地球環境学研究所、(財)大阪府文化財センター

後援 大阪府教育委員会、大阪府立弥生文化博物館、朝日新聞社、産経新聞社、毎日新聞社、読売新聞社



近世の井戸

第4回地球研地域セミナー

災害と「しのぎの技」

—池島・福万寺遺跡が語る農業と環境の関係史—

プログラム

開会の辞

立本 成文 (総合地球環境学研究所・所長)

第1部 「考古学からみる災害の爪痕」

基調講演

大庭 重信 (大阪市文化財協会
文化財研究部・学芸員)

対談

井上 智博 (大阪府文化財センター・副主査)

大庭 重信 (大阪市文化財協会
文化財研究部・学芸員)

第2部 「自然科学分析からみる災害としのぎの技」

パネル ディスカッション

田中 克典 (総合地球環境学研究所・研究員)

宇田津 徹朗 (宮崎大学附属農業博物館・准教授)

藤井 伸二 (人間環境大学・准教授)

木村 栄美 (総合地球環境学研究所・研究員)

(まとめ)

佐藤 洋一郎 (総合地球環境学研究所・副所長)

閉会の辞

金光 正裕 (大阪府文化財センター・池島支所長)

総合司会：阿部 健一 (総合地球環境学研究所・教授)

表紙の図版：河内名所図会 巻之四(柳原出版)より



総合地球環境学研究所

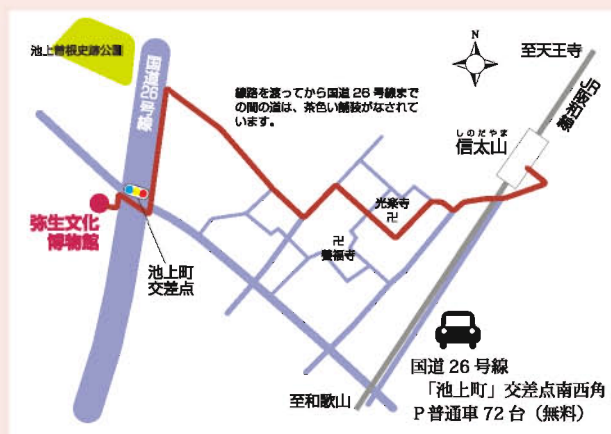
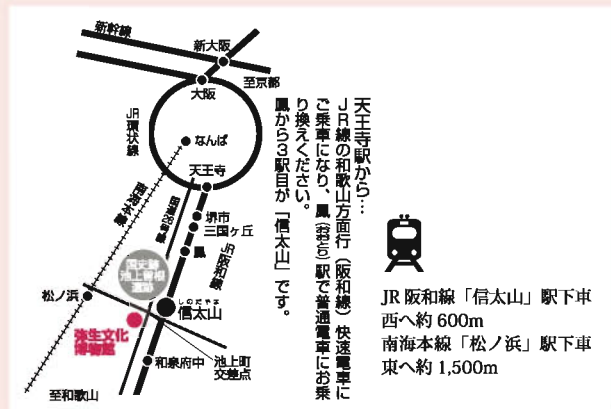
地球環境問題の解決に向けた学問の創出のための総合的な研究を行うべく、2001年に文部科学省の大学共同利用機関として設立。2004年の国立大学法人化に伴い、現在は大学共同利用機関法人人間文化研究機構に所属。人間と自然の間に生じている総合作用の実態を解明し、どうしたら未来可能性のある地球環境を創り出せるかを探っている。



(財)大阪府文化財センター

1972年に大阪府教育委員会の認可を受け、財団法人大阪文化財センターとして設立。大阪府内における埋蔵文化財や史跡の調査、整理、保存、研究、整備及び活用を行う一方、発掘体験学習や出前授業といった学校における歴史教育の支援や、文化財の普及啓発活動にも力を入れている。

= 会場へのアクセス =



第4回地球研地域セミナー

災害と「しのぎの技」

—池島・福万寺遺跡が語る農業と環境の関係史—

参加申込書

FAX 075-707-2106

(FAXでお申し込みの場合ご利用下さい)

住所

氏名

(TEL — —)

お申し込み・お問い合わせ
※電話・FAX・メールで受け付けます。

総合地球環境学研究所 総務課企画室 企画評価係
TEL (075)707-2173 E-mail hyouka@chikyu.ac.jp http://www/chikyu.ac.jp